

黒須田川を探検し、 素晴らしさを伝える活動

水族館をつくって
楽しい学校へ!

活動概要

「遊水地の水がどこに流れるのか?」という疑問から、川の水の流れを追う活動をしました。活動は徐々に発展し、最後は「黒須田川が楽しいところであることを学校内に知らせるにはどうすればよいか」というテーマから、学校に水族館をつくりました。

水族館づくりの後も活動は発展しており、現在はビオトープづくりが行われています。

学校名	神奈川県横浜市立黒須田小学校
活動場所	黒須田川～鶴見川(小学校の近くを流れる川、徒歩で移動)
対象学年	3年生
科目	総合的な学習の時間の活動として実施
所要時間	年間を通じた活動



学習のねらい

本学習は、3年生の総合的な学習の時間に実施しました。身近な川の周囲環境を調べる活動を通じて、自分たちで

きることを考え、行動し、実現するということをねらいとして活動しました。

実践例

活動を行うにあたって



P プログラム内容

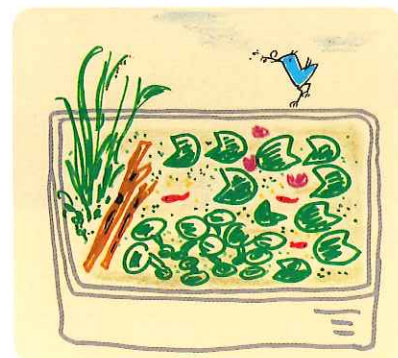
活動1 4月	校区探検をしよう
活動2 5・6月	水の流れをたどってみよう
活動3 7月	夏休み黒須田川探検隊
活動4 9・10月	知らせよう、応援しよう、黒須田川
活動5 11～3月	水族館をつくろう

活動時期

- ・年間を通じた活動

参加した児童数

- ・3年生 34人





活動場所

- ・黒須田川～鶴見川（徒歩で移動）



使用した道具

- 川の中に入るための道具
胴長，ライフジャケット
- 生き物を捕獲するための道具
タモ網，ペットボトル（仕掛け用），水槽
- 「水族館」に使用した道具
水族館用大型水槽，エアポンプ



スタッフの手配

本活動は，多くの方々にご協力いただきました。

- ・横浜市青葉土木事務所
- ・黒須田川クリーンクラブ
- ・青葉区川を楽しむ会
- ・鶴見川流域センター

活動内容



活動1 ～校区探検をしよう～

- 私たちが住んでいる周囲の環境について，クラスで話し合いました。
- 校区内の自然環境を調べてみると，東と西，南に遊水地があることがわかりました。
- 遊水地について話し合っていると，「遊水地の水はどこに行くのだろうか」という疑問がわいてきました。



活動2 ～水の流れをたどってみよう～



↑ 遊水地の見学

- 「遊水地と川はつながっているのかもしれない」と推測し，確かめるために，遊水地や黒須田川を探検することにしました。
- スタート地点は，黒須田川第2遊水地としました。黒須田川第2遊水地では，青葉土木事務所の方々に説明してもらいました。
- 遊水地では，そこで生息しているトンボやオタマジャクシ，ヤゴを発見しました。



↑ 黒須田川を歩く

- 遊水地から水が流れているところを探すと，黒須田川に流れていることがわかりました。
- 今度は黒須田川がどこへ行くのか，たどることにしました。
- 黒須田川をたどる際は，「黒須田川クリーンクラブ」の方々に話を聞くことができ，黒須田川で掃除や生き物調査をしている人がいることを知りました。

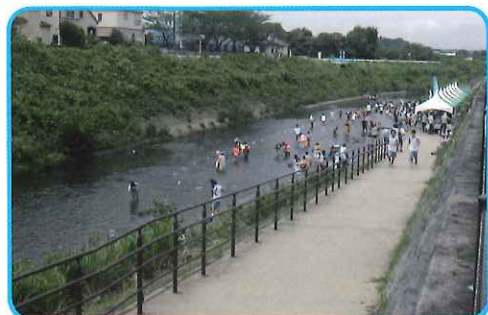


↑ 鶴見川との合流点

- 黒須田川を下流へ進むと、鶴見川へ流れていることがわかりました。
- 鶴見川では、「青葉区川を楽しむ会」の方々が案内をしてくれました。
- 遊水地から鶴見川で川の流れを追ううちに、子どもたちは川に入って遊びたいという気持ちが強まったようです。



活動3 ～夏休み黒須田川探検隊～



↑ いかだ祭りの様子

- 川について調べれば調べるほど、川のおもしろさを感じたことから、夏休みを利用して様々な活動をしました。
- 7月21日に下流の「谷本川いかだ祭り」に参加しました。つくったいかだやボートで川下りをしたり、生き物調査や水質調査をしました。



↑ 生き物調査の様子

- 7月29日には「夏休み黒須田川探検隊」に参加し、黒須田川クリーンクラブや鶴見川流域センターの方々の協力を得て、上流の生き物調査や水の透明度を測りました。



活動4 ～知らせよう、応援しよう、黒須田川～



↑ 発表会の様子

- これまで調べた黒須田川の素晴らしさや楽しさを、学校のみんなに紹介したいと思い、「川とニコニコ応援団」を立ち上げました。
- 「黒須田川がどこから来てどこに流れるのか」「どんなイベントが開催されているのか」「地域にどんなボランティアの人がいるのか」「どんな生き物がいるのか」など、多くのことを発表しました。



活動5 ～水族館をつくろう～



➡ 鶴見川水族館見学の様子



➡ 『黒須田川水族館』館長は吉沢先生

- 黒須田川が、生き物いっぱいのすてきな川だと紹介するために、学校に水族館をつくることにしました。
- 水族館づくりのお手本として、青葉区役所の鶴見川水族館の見学に行ったり、生き物の専門的なお話を鶴見川流域センターの方々に、聞きに行ったりしました。

- 水族館の見学や専門家のアドバイスをもとに、学校に黒須田川水族館が完成しました。
- 水族館づくりの後は、さらなる発展として学校内でのビオトープづくりを進めています。

まとめ



活動による効果

- ① 目標を達成するための必要な過程について、自ら探し学んでいく力を養うことができました。
- ② 自分たちが暮らしている周りの様々な人々が、助けてくれているという感謝の気持ち、それに応えて守ろうという気持ちが生まれました。



関連する単元

- ・ 2年生－生活「ぼうけんはっけん町たんけん」
「いきものをそだてよう」
- ・ 3年生－理科「身近な自然の環境」
- ・ 4年生－理科「季節と生物」
- ・ 3・4年生－社会「身近な地域や市（区・町・村）の特色ある地形」
- ・ 3・4年生－道徳「自然や崇高なものとのかかわり」
- ・ 6年生－理科「生物と環境」



子どもたちの広場

- ◎ もう一度遊水地へ行ってビオトープに使える植物を探そう。
- ◎ 来年度のお世話をし育委員会にお願いしよう。もちろん私たちも手伝うよ。
- ◎ 毎日日誌を書いて生き物の様子を観察しよう。
- ◎ ビオトープ作りが始まりました。4年生の総会で続きをやりたいな。早く完成させて命を増やしたいね。



先生の声

川は、学年に応じて、様々な内容、段階の学習が展開できる素晴らしい学習材です。目の前の子どもたちにどんな力を身につけさせたいのかを見極め、問題解決学習型にした単元構想をしてください。

その中には、必ず素晴らしい人との出会いも入れ込みましょう。他教科・領域もうまく入れ込むカリキュラムマネジメントができると、より楽しい学習になります。